

【各専攻における理念】

● 経済学研究科経営学専攻 (高等学校教諭専修(商業))

経営学専攻では、企業経営に関する広範な課題に対応するため、経営・会計・商学・情報の4分野の科目を適切に配置し、一つの領域に深く精通するのみでなく、幅広い見識を具えて経営の諸問題を発見・解決することのできる人材を育成することを目的としている。

教職課程においては、このような人材育成理念の下で徹底した少人数教育を行い、経営学の専門的思考力、バランスのとれた視野と実践的なコミュニケーション能力を具えた、高度職業人としての商業科教員の養成を目指している。

【段階的目標とその計画】

<経営学専攻> (高等学校教諭専修(商業))

履修年次		到達目標と計画
年次	時期	
1 年次	前期	研究指導(演習)及び授業科目を履修することにより、今後、専修免許取得に向けて、一種免許状取得の際に身に付けた知識・教養を更に深め、研究遂行能力と教育実践力を身に付けることによって、商業分野の専修免許に相応しい専門性を獲得するという目標に対する真摯な自覚を深めることを目指す。
	後期	引き続き、研究指導及び授業科目を履修することにより、現代の企業経営に関する諸課題を理論的かつグローバルな視野で理解する力を養成し、問題発見・問題解決能力を強化することを通じて、一種免許状取得の際に身に付けた知識・教養を更に深め、また、教えることへの主体的意識を高めて、柔軟な発想力とコミュニケーション能力を伸ばすことを目標とする。
2 年次	前期	2年次を迎え、研究指導において修士論文もしくは課題研究報告を作成していく中で、経営学の専門的知見に基づく問題発見・問題解決能力を強化して、研究遂行能力を高めるとともに、修士論文もしくは課題研究報告の課題を経済社会の基本動向に対するグローバルな視野の下で把握出来るように努め、専修免許に相応しい専門性を知識と応用的実践力の両面で涵養することを目標とする。
	後期	引き続き、修士論文もしくは課題研究報告を作成していく中で、経営学の専門的知見に基づいて企業経営をめぐる諸問題に対する分析力を強化し、研究遂行能力を具体的に発揮出来るようにするとともに、特に公開制の修士論文等中間報告会での発表・討論を通じて、柔軟な発想力とコミュニケーション能力を一層錬磨し、専修免許に相応しい専門的な研究・教育力を獲得することを目標とする。